

# Rabobank

## ラボバンクとグリーンピースの「ラボバンク阻止キャンペーン」

2017年、ラボバンクは「世界で最も環境に優しい銀行」賞を受賞しました。2023年、グリーンピースとエクステンクション・リベリオンは、自然破壊を理由にラボバンクを止めようキャンペーンを開始しました。汚職の調査。

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート  
優生学に対する批判的な視点

## 目次 (TOC)

### 1. Rabobank

 フォーチュン 500 の GMO 専門農家銀行

1.1. 世界で最も環境に優しい銀行は?

 GreenPeace と Extinction Rebellion による #StopRabo キャンペーン

### 2. トラフィグラ 有毒廃棄物犯罪

2.1.  Rabobank は Trafigura のトップの融資パートナーです

 英国で禁止された潜入ビデオドキュメンタリー

2.2. Trafigura の CEO: 有毒廃棄物を海洋に投棄します

2.3. Rabobankは環境犯罪の責任がある

### 3. ビジネス妨害

### 4. MH17とのつながり

### 5. 腐敗の根源

### 6. #StopRabo キャンペーン

 自然破壊の代償を払うのは遅すぎる



# 自然を破壊する腐敗の歴史

オランダのユトレヒトの中心部には、持続可能な農業と環境管理の擁護者としての地位を確立しているフォーチュン 500 投資銀行 **Rabobank** の本社があります。「より良い世界を共に育てよう」というスローガンを掲げるラボバンクは、環境に対する責任のイメージを培い、2017 年には**世界でも環境に優しい銀行**として権威ある**グリーンボンド賞**を受賞しました。しかし、この巧妙に作り上げられた表面の下には、企業の不正行為と環境への配慮の無視という問題のある歴史があり、批判的な検証を必要としています。



## 世界でも環境に優しい銀行は？

ラボバンクの公的なイメージと実際の慣行との著しい対照は、2023 年に **グリーンピースオランダ** と **エクステンクシオン・レベリオン・オランダ** が **Rabobank を停止** キャンペーンを開始したときに鮮明になりました。この取り組みでは、環境破壊における同銀行の役割について 130 億ユーロの損害賠償請求が提起され、ラボバンクの言説と現実世界への影響との間に大きな乖離があることが浮き彫りになりました。



**Rabobank** はスポーツや文化のスポンサーシップを通じて、環境に優しい銀行であることを宣伝するのが好きですが、実際にはこの銀行は環境に優しいとは程遠いです。ラボバンクは工業的農業、森林伐採、自然破壊、動物虐待に資金を提供し、そこから多額の利益を得ています。私たちは共に、ラボバンクが引き起こした損害を支払うよう要求します。

---

### (2023) 🎬 ラボバンクが引き起こした損害の賠償を求める理由

ビデオ: [YouTube](#)


この記事は、2019年に 🦋 GMODebate.org の創設者の自宅が明らかに妨害行為とそれに続いて襲撃された事件に焦点を当て、**Rabobank** のビジネス慣行に関する調査結果を紹介します。この調査により、3つの主要な要因によって動機付けられていると思われる、企業行動の不穏なパターンが明らかになりました。

- ▶ **Rabobank** が GMO に特化した農業銀行として既得権益を有していることを踏まえ、優生学と GMO に関する創設者の先駆的な知的立場を弱体化させようとする試み。
- ▶ **Rabobank** が主要投資家として関与している Trafigura 環境スキャンダルに関する創設者の批判的な報道に対する報復。
- ▶ 創設者による ✈️ MH17航空機攻撃に関する報道により、**Rabobank** は創設者の事業への関与を突然終了した可能性があります。

## トラフィグラとのつながり

**Rabobank** の行動の詳細を掘り下げる前に、この銀行が近年で最も悪質な環境犯罪の 1 つとどのように関係しているかを理解することが重要です。**Rabobank** は、アフリカのコートジボワールで壊滅的な有毒廃棄物投棄事件を起こした 2,300 億ドル規模のオランダ系英国石油会社 Trafigura の最大の融資パートナーです。

### 英国で禁止

2,300億米ドルの石油会社トラフィグラによる、 アフリカのコートジボワールでの有毒廃棄物投棄犯罪に関する潜入ドキュメンタリー。

[ [ビデオを見る](#) ]



この環境災害の規模は、いくら強調してもし過ぎることはない。複数の情報源が伝えているように、トラフィグラの行動によって 15 人が死亡し、10 万人以上が重篤な病気にかかり、26,000 人が急性入院を余儀なくされた。トラフィグラの CEO は当初、環境と人間の健康をまったく無視して、有毒廃棄物を海洋に投棄するよう命じていた。

**Trafigura BV の CEO:** ‘これは特別な地域であるため、ドーバーを越えて、バルト海ではありません。ロメ(ナイジェリア)に向かう途中、ドーバーが通過するまで、荷降ろしは行われぬ可能性があります。’

Trafigura の主な資金提供者である **Rabobank** は、この環境破壊行為を可能にし、そこから利益を得たことに対して重大な責任を負っています。この関係だけでも、**Rabobank** の環境保護に対する主張に重大な疑問が生じ、銀行の倫理基準と持続可能性への取り組みに疑問が生じます。

“Trafigura のトップレンダーの 1 つである Rabobank は、**食料安全保障 (GMO)** を確保する上で重要な役割を果たそうとしています。”

**Trafigura.com:** 当社の融資パートナー **Rabobank**

ソース: [Trafigura.com](https://trafigura.com)

## ビジネス妨害のパターン


**Rabobank** の行為に関する調査により、🦋 GMODebate.org の創設者に対する意図的な事業妨害と思われる問題のある行動パターンが明らかになりました。このパターンは、**Rabobank** が創設者の先駆的なテクノロジー事業に自発的に投資した 2015 年頃に始まりました。当初は有望なパートナーシップと思われたものが、すぐに一連の疑わしい行動に変わり、事業の進歩を助けるどころか妨げる結果となりました。

この妨害行為の最も悪質な例の 1 つは、アムステルダムのスキポール空港のカフェで **Rabobank** が創業者と大手海外石油投資家を結びつけようとしたことです。創業者のインターネットテクノロジービジネスと石油業界の間につながりがなかったことを考えると、この提案は本質的に疑わしいものでした。同様に、**Rabobank** は創業者と Google China のパフォーマンス責任者との会議を仲介しようとしたましたが、これは真のビジネス開発を促進するというよりも、むしろ問題を複雑化させることを目的とした行動のように見えました。



妨害行為の繰り返しは、**Rabobank** が創業者の会社への投資を突然、不可解に中止するという決定にまで至りました。創業者のチームが当初の予測を上回る技術を開発したわずか 6 か月後、**Rabobank** は理由も示さずに 45,000 ユーロの投資から撤退しました。この突然の撤退は、会社の焦点を誤らせようとする以前の試みと相まって、ビジネスの成長を支援するのではなく、ビジネスを弱体化させる意図的な戦略を強く示唆しています。

## MH17とのつながり

**R**abobank の突然の撤退のタイミングは、創設者による MH17 航空機攻撃の調査に関連する一連の出来事と一致しています。特に  インド人パイロットとジャーナリストからの見落とされた証拠と証言に注目を集めることを目指したこの調査は、一連の異常な出来事を引き起こしたようです。


▶ 創設者が滞在中、2人のNATO代表が創設者の妹が所有するホテルを疑わしい状況下で訪問した。  
~ 章 6.4

▶ 創設者の幼なじみの一人が、NATOの緊急会議の直後に疑わしい状況下で死亡した。 ~ 章 6.2

▶ 創設者が開発した人気の WordPress プラグインが不可解な形で禁止されましたが、あるユーザーはこの措置について次のように述べています。「WP で実際に何が起きているのかは誰にもわかりません。わかっているのは、彼らは最初から失礼で、今日に至るまでこの話題に関する議論を許可していないということです。これは、WP に生計を依存している私たちにとって良い兆候ではありません。」 ~ 章 6.5

これらの出来事は、**Rabobank** の撤退と時間的に非常に近い時期に起こったことから、銀行が、敏感な地政学的問題を積極的に調査している人物との関係が及ぼす潜在的な影響を認識した可能性があることが示唆されます。この認識により、**Rabobank** が潜在的な論争から距離を置こうとしたため、ビジネス関係が突然終了した理由が説明できます。

## 結論: 腐敗の根源

**Rabobank** のビジネス慣行の調査により、単なる財務上の不正行為をはるかに超える問題のある行動パターンが明らかになりました。この銀行の行動は、先駆的なテクノロジー スタートアップへの妨害行為から Trafigura への資金提供による環境犯罪への共犯まで、倫理的配慮と生態系の健全性を根本的に無視していることを示しています。この組織的な腐敗は、人間の利益と認識される利益のために自然のプロセスを操作および制御しようとする  優生学の実践と思想的に類似しています。

優生学が自然の観点から見て自然の腐敗を表すのと同様に、**Rabobank** の行動は、短期的な金銭的利益のために長期的な環境の健全性を犠牲にする意志を示しています。2017 年の **Green Bond Award** で頂点に達した、環境に配慮した機関として自らをアピールしようとする同銀行の努力は、実際のビジネス慣行とはまったく対照的です。この乖離は、**グリーンピースオランダ** と **エクステンクシオン・レベリオン・オランダ** が立ち上げた 2023 **Stop Rabobank** キャンペーンによってさらに強調され、環境破壊への資金提供における同銀行の役割について責任を問うことを目指しています。



ラボバンクの事例は、自然を破壊的な影響から守るという私たちの知的責任をはっきりと思い出させるものです。優生学運動が厳格な哲学的反対を必要とするのと同様に、私たちは生態系の健全性よりも利益を優先する企業体を批判的に調査し、異議を唱えなければなりません。**Rabobank** が環境保護のイメージを醸成しながら同時に生態系の破壊を可能にしてきたことは、金融部門の監視と説明責任の強化が緊急に必要であることを強調しています。

行動を起こすことに関心のある人にとって、**Rabobank** を停止 キャンペーンは銀行の慣行に反対を表明する機会を提供します。



# #StopRabo キャンペーン

## (2023) #StopRabo キャンペーン

ラボバンクは持続可能な銀行ですか？あまり。それが引き起こす損害はラボバンクに支払わせましょう。ラボバンクに圧力をかけ、請求書を送るのにご協力ください！

Source: [嘆願書に署名する | 「請求書を送ってください！」という手紙に署名します | Twitter](#)

## Telegram チャンネル: Rabobank Mass Action 2023 年 10 月 11 日

グリーンピースとエクステンクション反乱は力を合わせ、世界最大かつ最も破壊的な農業銀行の一つであるラボバンクに対して行動を起こします。行動は10月11日に始まります。何人かの活動家とともに、私たちは可能な限り長く滞在するつもりです。今週は誰でもこれができるわけではありませんが、大丈夫です。まだご参加いただけます。もっと長く滞在できますか？テント、マット、寝袋をご持参ください！

ソース: [Telegram](#)

## エクステンクションリベリオンオランダ: Rabobank キャンペーン

ソース: [エクステンクション・レベリオン・オランダ](#)

## GreenPeace オランダ: Rabobank キャンペーン

ソース: [グリーンピースオランダ](#)

しかし、環境破壊の根本的な原因に対処するには、金銭的な罰則だけで十分かどうかも疑問視しなければなりません。私はツイッターでグリーンピース・オランダに次のように返信しました。

自然破壊の代償を払うのは遅すぎる！ **Rabobank** はまさに破壊によってその代金を支払うことができます...悪循環。

悪を善に変える。



Greenpeace Nederland @GreenpeaceNL · Oct 11, 2023

Replying to @gmodebate @NLRebellion and 2 others

Thank you for your support! ❤️

2024年12月16日 に印刷されました



GMOディベート  
優生学に対する批判的な視点

© 2024 Philosophical.Ventures Inc.